

# なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



おしゃかさまって

どんな人？

今からおよそ2500年前、ゴータマ・シッタッタという王子様がいました。後に「おしゃかさま（釈尊）」と呼ばれる方です。本当に大切に（しなければ）ならないものに気付き、それを大切にする方法を大勢の人に教えてくださった方です。

生まれてすぐに7歩歩み、天地を指さし「天上天下 唯我独尊（天にも地にもただ我ひとり尊し）」と叫ばれたと伝えられています。その意味は「僕が一番偉いんだ」ではありません。「僕がここに生まれたことそのものが、とても尊いことなんだ、すごいことなんだ」という喜びが溢れ出た言葉なのです。

「いのちは何もないところからは生まれません。お父さんお母さんがいて、お二人が出遇って、周りの多くのいのちが支えてくださって、僕のいのちが授かった。多くのいのちが無ければ、僕は生きていない。一つのいのちの周りにどれ程たくさんのいのちの支えがあるのかに気付き、自分のいのちを大切にすること本当の方法は、自分の周りのいのちを大切に続けることなんだよ」とおしゃかさまは教えてくださったのです。そして「それができるのは今しかないんだよ」とも。

もうすぐ「花まつり」がありますね。おしゃかさまの誕生日のお祝いです。おしゃかさまが生まれたとき、天がよろこびのあまり甘露の雨を降らせたといわれています。甘茶をおかけして、みんなでお祝いいたしましょう。そして、本当に大切にすべき周りのいのちに「有り難うございます」と、感謝いたしましょう。